

放流効果調査事業・キツネメバル

村松里美・鈴木亮・高橋進吾

目 的

第7次栽培漁業基本計画の技術開発対象種となっているキツネメバルの放流技術開発に取り組む。

材料と方法

1. 種苗放流

(公社)青森県栽培漁業振興協会が種苗生産・中間育成した当歳魚に、標識として腹鰭抜去を施し、深浦町北金ヶ沢漁港に放流した。

2. 放流効果調査

放流効果を調べるため、2021年2月～2022年2月に、深浦町北金ヶ沢市場及び鱒ヶ沢市場に水揚げされたキツネメバルの標識(腹鰭抜去)の有無を確認した。

結果と考察

1. 種苗放流

左腹鰭抜去を施した平均全長70.4mmの当歳魚10,000尾を2021年11月8日に深浦町北金ヶ沢漁港内に放流した。これまでの放流では、左右いずれかの腹鰭を毎年交互に抜去し放流年の識別の指標としている(表1)。

表1 キツネメバル標識放流結果

放流月日	放流場所	平均全長 (mm)	放流尾数 (尾)	うち 標識尾数	標識部位 (腹鰭抜去)	中間育成方法 (実施海域)
2010/11/19	北金ヶ沢漁港	67	9,850	2,400	右・腹鰭	網生簀(日本海)
2011/10/27	北金ヶ沢漁港	69	5,800	5,800	左・腹鰭	網生簀(日本海)
2012/10/18	北金ヶ沢漁港	67	5,500	1,500	右・腹鰭	陸上水槽(日本海・陸奥湾)
2013/10/10	北金ヶ沢漁港	67	10,000	10,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2014/10/10	北金ヶ沢漁港	71	10,000	10,000	右・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2015/11/18	北金ヶ沢漁港	67	10,000	10,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2016/11/21	北金ヶ沢漁港	67	10,000	10,000	右・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2017/10/19	北金ヶ沢漁港	76	10,000	10,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2018/10/22	北金ヶ沢漁港	77	10,000	10,000	右・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2019/10/21	北金ヶ沢漁港	72	12,000	12,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2020/10/28	北金ヶ沢漁港	87	13,200	13,200	右・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2021/11/8	北金ヶ沢漁港	70	10,000	10,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)

2. 放流効果調査

2021年2月～2022年2月に市場に水揚げされたキツネメバル計370尾について、標識(腹鰭抜去)の有無を確認したところ、深浦町北金ヶ沢市場において、2022年2月14日に推定年齢4歳の右腹鰭抜去された1

尾のキツネメバル（全長 239 mm）を確認した。

表 2 放流年ごとの放流尾数と再捕尾数

再捕年	放流年 放流尾数 (鰭抜去)	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
2013		1											
2014			1										
2015													
2016				1									
2017					1	2							
2018					2		1	1					
2019							1						
2020													
2021										1			
再捕数		1	1	1	3	2	2	1	0	1	0	0	0

2013 年以降は継続して 10,000 尾以上を標識(腹鰭抜去)放流できていることから(表 1)、引き続き市場調査による放流効果の推定を行う。